

部局名	上下水道局	所属名	維持管理課	所属長名	鶴丸 良造	電 話	483-6587
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9926		事務事業名称	漏水調査事業（水道事業_収益的支出）						短縮コード	経常	9926	臨時	
予算区分	会計	63	水道事業会計_収益的支出	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	02	配水及び給水費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		水道法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
平成2年度から実施した事業。表面に表れない地下埋設管の漏水を発見し，修理することで漏水に起因する無効水量の減少と二次災害の防止を図る。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総 合 計 画 の 施 策 体 系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
漏水の早期発見・修繕により，漏水の再発防止，水の有効利用，二次災害防止等が図られている。今後，改良工事の進捗状況に合わせて，調査時期や調査区域の設定を見直す。具体的には「5年周期で全市を網羅する」設定から「漏水の多い地域を優先する」へと移行していく。						大項目（節）	04	水道						
						中 項 目	01	水道						
						小項目（施策）	03	災害・環境対策の強化						
						細 項 目	02	有効率の向上						
					実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	給・配水管等の水道施設						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 八千代台地区・大和田地区・勝田台地区・勝田台南地区の京成軌道上の水道管（0.4km）の漏水調査（相関）を実施した。 また，勝田台地区の一部（2・3・4・5・6・7丁目内の900戸）の漏水調査（戸別）を実施した。						
	※平成23年度に計画していること： 市内の漏水の多い箇所10,000戸（延べ延長10.0km）の漏水調査を実施する。						
意図 （何を狙っているのか）	給・配水管及び付属施設の地下漏水を早期に発見し修理することで無効水量の減少を図り，有効(有収)率の向上及び漏水に起因する二次災害等の防止を図る。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	配水管総延長	k m	641	650	650	659
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	漏水調査を実施した管路長	k m	100	120	0.6	10
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	漏水発生件数	件	32	50	16	50
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	9926	事務事業名称	漏水調査事業（水道事業_収益的支出）				所属名	維持管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			漏水は一定期間内での調査が必要であり，早期発見・修繕のために本事業は現状のまま継続すべきだが，コスト面及び効率の良い調査を行うためには手法の見直しが必要。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			漏水は一定期間内での調査が必要であり，早期発見・修繕のために本事業は現状のまま継続すべきだが，コスト面及び効率の良い調査を行うためには手法の見直しが必要。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☒	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
監査意見として漏水調査により，漏水発見修理により，無効水量の減少に努めるよう指摘がある。									

所属長コメント	効率性のある漏水調査手法による見直しを行い、早期発見に努め迅速な修繕が出来るように努めたい。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続		漏水調査事業の手法の見直しを行い，事業の効率化と経費縮減を図ること。						
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									